



新規事業、考えてみませんか？ 最後まで諦めず、粘り強く支援します。

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター

Ver.4 第 44 号

Kindle本の発刊後、どうなったのか？

アクセスするには URL をクリックしてください。 <http://www.amazon.co.jp/dp/B07HYBVY5M>

2018 年も残りわずか。少しずつ寒くなり、あっという間に年末年始でしょうね(笑)。体調を崩しやすい季節なので、皆さんご自愛ください。さて、**43 号でお知らせしたKindle本**ですが、その後、どうなったのか。概略をお伝えしたいと思います。

まず、ニュースレター読者の皆さんにお伝えする前に、10月6日の土曜日、Facebook で告知しました。告知前にダウンロードが 5 件あり、Amazon のパワーを実感しています。

そして、10月8日の月曜日にニュースレター読者の皆さんに告知メールを送りました。この日のダウンロードは 7 件でした。ちなみに、ダウンロードの最高は 10月10日の水曜日の 33 件で、最低は 10月22日の月曜日の 2 件です。

それと Kindle ストアには有料と無料それぞれにベスト 100 のランキングがあります。僕の無料Kindle本の最高順位ですが、**10月11日の木曜日に無料カテゴリーで 25 位。この時の個別カテゴリーの順位も出ていました。新規ビジネスで 1 位、社会学で 2 位、投資・金融・会社経営で 4 位でした。**

昭和世代なので、このようなランキングを見ると、つい気合いが入り、ランキングを上げてやろうと意識が過剰になってしまいますね(笑)。深呼吸してから意識を平常に戻し、観察していくことしました。観察を続けているのですが、ダウンロード数の低下とともに順位は下がりつづけ、これを書いている時点の順位は 238 位になっています(苦笑)。

それと、スゴイことを一つ発見しました。ダウンロード数の高低はあるのですが、これまでに 0 件はありません。無料Kindle本なので、ダウンロードのハードルは低いと思います。ただ、興味がなければ、無料であってもダウンロードしないはず。僕のKindle本に興味を持ってくれた人が少数でも毎日いることに感謝しています。ちなみに、10月31日の午前 11 時現在のダウンロードの累計数は 228 です！

「日本 4.0」を読みました！



今月ご紹介する本は「**日本 4.0 国家戦略の新しいリアル**（文藝春秋、¥864、エドワード・ルトワック著 奥山真司訳）」です。ルトワックさんは、軍事や国際問題に関する戦略家・専門家です。**僕が定期的にウォッチしている人物のひとり**。先月、来日して新聞のインタビューに答えたり、BS フジの番組に出演されたりしていました。去年もこの時期に来ていましたが、本の PR を兼ねて活動をされているみたいです。

冒頭で「日本 4.0」に至る説明があります。1.0 は、江戸幕府によって内戦（戦国時代）を封じ込めた「**江戸システム**」を創設したこと。2.0 は、黒船が発端となった西洋近代化の挑戦を受けて、「江戸システム」から「**明治システム**」へ転換したこと。そして 3.0 とは、戦後、陸海の軍備を捨て、日本再建のために経済を軸にした国づくりである「**戦後システム**」を採用したこと。日本は危機に直面するたびに、新しい戦略的システムを取り入れて乗り越えてきたと、ルトワックさんは高く評価しています。僕なりに解釈すると、1.0 は「中世から近世へ」、2.0 は「近世から近代へ」、3.0 は「近代から現代へ」となります。この流れから 4.0 は「現代から未来へ」ということでしょうね。

ルトワックさんは、日本を取り巻く新たな危機の中で、新しいシステムである「4.0」の構築を提案しています。**新たな危機とは、「北朝鮮の脅威」「米中対立を軸にした地経学的紛争」「少子社会」の 3 つ**です。少子社会というキーワードが少し異質のように思われるかもしれませんがね。この 3 つのつながりについて、P23 で上手く短文表現しています。それは、「**子どもがいなければ、安全保障の論議など何の意味もない**」というもの。これが本質であり、システム構築のカギになると思います。

「北朝鮮の脅威」に対応するために、「**防衛としての先制攻撃**」という刺激的な言葉が出てきます。具体的な内容については、本書をご覧ください。ただ、その中の具体論として F-15 の改装を提案しています。現状のパイロットが使えますし、市場で出回っている空対地ミサイルを装備すれば、極めてローコストで先制攻撃の準備が整います。このあたりはルトワックさんらしいですね。

「米中対立を軸にした地経学的紛争」について、本書の内容ではなく、興味深い記事がありました。毎日新聞のインタビューの中で「**貿易や知的財産権などを巡る米中対立は、長期間に及ぶことになる。対立は中国共産党政権が崩壊するまで続くだろう**」と語っています。つまり、アメリカは中国を軍事的にも経済的にも本気で潰しにかかると言っているのです。10 月 4 日にはペンス副大統領が、対中国政策に対する演説を行っていますが、ルトワックさんの主張を裏付ける内容なのです。

毎日新聞の記事：<https://mainichi.jp/articles/20181015/k00/00m/030/093000c>

ルトワックさんの言葉、予言のように聞こえます。かつての共産主義「ソ連」を潰して、ロシアに転換した事例がありますからね。これから 20 年くらいのスパンで国際政治は大きく変わると思います。特に経営者は、こうした変化をすばやくキャッチして、実害を避けていくことが必要です！

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター編集部
〒540-0034 大阪府中央区島町 2 丁目 2 番 3 号 サハム天満橋 402
TEL06-6920-3191 Email: m-okumura@1project-support.com http://www.1project-support.com
FAX06-6920-3192 Copyright 2018 オクムラ経営コンサルティングオフィス all rights reserved

発行人 奥村政治

発行日 2018 年 11 月 1 日